

赤城山では登山やスキーと天体観測、スノーシューといった多彩なレジャーを楽しめるが、観光客は減少傾向にある。市観光課によると、ピーク時の1984年

いたが、2013年度は53万人にとどまった。一方、地元企業や環境団体などは05年から赤城山周辺で自然の保全と活用の両



開館時間は午前9時半から午後5時。月曜休館。観覧料は一般300円、高校生150円、中学生以下は無料。問い合わせは同館(8027672・81888)へ。

近づく北陸

3・14新幹線金沢延伸

■2□

「北陸と新幹線でつながれば心理的な距離感も縮められる。大きな商機になる」。北陸新幹線の金沢延伸を目前に、県内や北陸の企業関係者には

加し、売り込みを本格化させる。桐生市で創業し「築地銀だこ」などの飲食店を展開するホットランド(東京都中央区)も北陸への出店に意欲をみせる。北陸エリアの出店は現在11店舗だが、佐瀬守男社長は「まだまだ店が少ない。これから積極的



スズラン高崎店で開かれた石川県の物産展。北陸新幹線延伸開業を前に多くの買い物客が訪れた

新市場に熱視線

企業

商機拡大互いに攻勢

経済交流が活発になり相乗効果を生むことへの期待が高まっている。

■チャンス

医療機器販売のメデイケア(高崎市栄町)は新幹線の延伸開業を機に開発したボイラーの燃費向上装置を北陸各県で本格的に売り込む計画だ。県内の温泉地や栃木、長野両県などで販売実績を積

「今まで北陸は感覚的に遠く、営業先とは見ていなかった」と松田力社長。高崎-金沢駅間は最短約2時間と約70分短縮され、日帰りの商談も可能になることから方針転換した。松田社長は「全くの新しい市場を開拓できるチャンス」と意気込む。3月に富山市で開催

■最前線

一方、北陸に拠点を置く企業は関東進出への足掛かりとするため、本県への新規出店などを重視する。ドラッグストアを展開するクスリのアオキ(石川県白山市)はその一つ。

北陸3県を基盤に新潟や長野に254店舗(11日現在)を展開し、関東や関西への本格進出を目指している。本県では2012年4月の初出店から19店まで拡大しており、「群馬は関東進出の最前線。最も重要なエリアとして今後も集中的に出店する」と戦略を描く。

北陸各県や商工団体なども地元物産の本県への売り込みに力を入れる。スズラン高崎店(高崎市宮元町)で今月4、10日に開かれた石川県の物産展。食料品や地酒、工芸品などが並んだ会場は初日から大勢の買い物客が訪れ盛況だった。用意したパンフレットが見る間に減っていく様子に、配っていた同県の担当者は「手応えをつかんだ。『名物』は『お薦めの観光スポット』と質問してくる人が多い。新幹線効果で北陸への関心は予想以上に高まっている」

北陸地方を基盤とする飲食チェーンはすでに本県への進出を加速させている。これまで北陸富山回転寿司かいう、ゴーゴーカレーなどが出店。昨年10月は金沢発の新感覚スイーツ「世界で2番めにおいしい焼きたてメロンパンアイス」を販売する店舗がJR高崎駅の駅ビル商業施設にオープン、人気を集めている。